

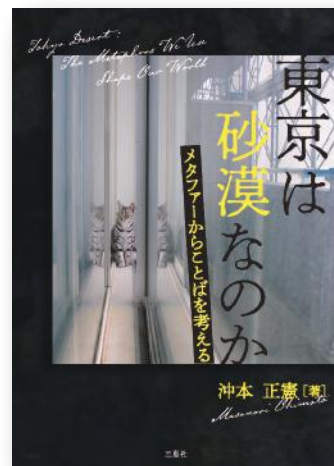
東京は砂漠なのか

メタファーからことばを考える

沖本 正憲

人間の知覚と言語との関連に着目し研究する 「認知言語学」の入門・解説書。

本書では「人間の認知の観点からことばを捉えると何が見えてくるか」というテーマから、認知と言語の関連性、メタファー、そしてアメリカの認知工学の権威でコンピュータのインターフェイス設計等に多大な影響を与えたドナルド・A・ノーマンの研究についてなど、多彩な分野について触れています。研究書よりもわかりやすい一般向けの内容で、言語学研究や外国語教育、工業デザイン研究などさまざまな分野の関係者、学生等に手に取ってほしい一冊です。



◆目次

- 第1章 ことばと認知 太陽の日周運動／語の多義性／ワインのボディ ほか
- 第2章 身体部位詞の比喩的意味拡張
比喩的意味拡張の基盤／頭部のメタファー／部分と全体の関係／擬人化 ほか
- 第3章 科学分野のメタファー 不変性仮説／科学技術とメタファー／電気回路の理解 ほか
- 第4章 身体経験とことば 空間と感情の写像関係／心理と姿勢の共起性／イメージ・スキーマ ほか
- 第5章 事例研究：禅宗様伽藍配置と身体メタファー
禅宗様七堂伽藍／七堂伽藍と人体表相図／風水思想と身体モデル ほか
- 第6章 認知科学者ドナルド・ノーマン
社会で求められる能力／fifteen と fifty／スイッチ／エモーショナル・デザイン ほか

◆著者略歴

沖本正憲（おきもと まさのり）

1955年、北海道札幌市生まれ。筑波大学大学院教育研究科修了。専門は認知言語学。民間企業を経て、公立高等学校2校で教諭、1校で教頭。苫小牧工業高等専門学校教授、嘱託教授（2020年退職）。

〈著作〉

「これからの教科書像：英語Iを例として」『高校英語教育だいろーぐ特別号』（1990年、増進堂・受験研究社、増進堂創業百周年記念「英語教育賞」優秀賞受賞）、「高校英語教師の研修意識調査」『平成5-6年度文部省科学研究費報告書一般（A）』（共著、1995年、筑波大学）、『英文読解ストラテジーで学ぶ：科学と人間のための英語読本』（編・共著、2010年、開拓社）、「身体投射：私たちはなぜ対象物に身体モデルを用いるのか」『認知言語学論考』No.15（2021年、ひつじ書房）

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	沖本 正憲 東京は砂漠なのか メタファーからことばを考える 224頁 / A5判 / 並製 定価 2,000円(税別) ISBN978-4-86693-543-0 C3036
ご注文は、JRCへ FAX：03-3294-2177(TEL：03-5283-2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		